



9月！あまりにも雨が多い！ポーポキはレインブーツを買うことを考えています。あなたはいかが？雨の日にどんなカッコをしますか？

## Popoki's Hot News!



NEW

ロニー・アレキサンダー編著

『ポーポキのマスクギャラリー ~コロナ禍でアートを通して日常の安心を探る~』神戸大学出版会 2022.2.22 発行



平和と健康のオンラインワークショップ！

10月22日。詳細については7-9ページをご参照。

「一言の平和」コーナー



ポーポキのお友だちもりにゃんは、8月6日の広島の日、次の「一言の平和」を送ってくれました。「台風が去って、交代で秋がやってきた。空気が変わる、空が高い、温度が変わる、お日様の暑さがやさしくなる、などのいろんなサインを感じることができる。夏の暑さから解放してくれる優しい風に安心したり、夏とお別れに少し寂しくなったり、、自然を感じるとき、私はとても素直になれる気がします。それは、とても平和だなと感じます。」

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。

ポーポキのメール [ronniandpopoki \(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki@gmail.com) !

# Popoki's Video Gallery

ポーポキの動画をぜひみてください！

ポーポキのマスクギャラリー～新型コロナウイルス感染拡大を生きる  
<https://www.youtube.com/watch?v=BjT1ZjVUsm8&t=3s>

ポーポキのおうち  
<https://www.youtube.com/watch?v=l8OCzg64oH8>

ポーポキと一緒に平和のパクパクをつくりましょう！  
<https://youtu.be/FoT4pCWWRnQ>

ポーポキのピースマップ  
<https://youtu.be/4t4PFV-dRBg>

ロニー・アレキサンダーの最終講義（ポーポキではないが、お許してください）  
「大きな夢と小さな島々～30年間でふりかえって、そして明日へ」  
<https://youtu.be/trbxJSP7-CY>

日本平和学会 関西地区研究会主催 <ウクライナ戦争への視座 平和学から考える> 「私たちが見ていないもの、そしてモヤモヤ感」  
語り手 安齋郁郎、ロニー・アレキサンダー  
聞き手 奥本京子、遠藤あかり  
<https://www.psj.org/chiku-kansai/> からユーチューブへ

英語だけど、ESPN  
のミニシリーズ  
'Title IX'も観て！  
るにゃんは第2部  
に登場！



## 平和の集い 2022 in 関西

報告 さとにゃん

9月15日に大阪城の近くのドーンセンターで、平和の集いがありました。ろにゃんとさとにゃんは、絵本の読み聞かせとお話を内容とするワークショップで参加しました。演劇や音楽を中心に活動している人たちがたくさん参加していて、とっても楽しい会でした。

ポーポキは、ろにゃんがなぜ平和研究を始めたのかというお話のあと、ポガで始まりました。お勉強の所は皆さん一生懸命メモを取って、ワークの所ではとっても楽しそうに参加して、だんだん顔が上を向いてほころんでくる。

やっぱりポーポキマジック！！

読み聞かせは、参加者の皆さんと一緒に！

勉強になるけれど、心も温くなるポーポキでした。

他のプログラムを順に紹介すると。

○人形劇ボードビル「兵隊が戦争に行く時」

手を人に見立てた人形劇で、劇自体は無言で、ただ歌が流れます。

「男たちは戦争に行く。戻ってこれるのは運のいい奴だけさ」と繰り返します。

スカーフをまいた手がものすごく物悲しかったです。

○朗読劇「茶色の朝」

毛色が茶色以外の犬と猫を飼うと、逮捕されるという恐ろしい理不尽劇。

でも、「何時からこんなことになったのか」とつぶやく主人公。

○アンサンブル・レネットコンサート

平和を感じる演奏

○アンクルン合奏

インドネシアのアンクルンという楽器を使ってみんなで合奏。

どれも、とても楽しくて興味深かった。みんなが考えるきっかけにはなると思ったけれど、劇はどれもほろ苦くて、切なかった。



主催 = 全国児童・青少年演劇協議会 (全児演) 大阪文化芸術創出事業

### 平和のつどい 2022 in 関西

2022  
9/15  
14:00~16:00  
ドーンセンター

全児演を密に  
全児演運営委員長 萩本舞子

密になる事を選けて3年になる。中学生と高校生は入学式も卒業式もない3年です。みんなで大きなかぶを抜くチャンスもない3年です。だから一つの舞台を同じ時間に同じ空気の中で観る事のすこさを感じた3年でした。コロナ禍で継続してきた平和のつどい、でも戦争が起きました。人の事を思いやる心を、優しい心をもっともっとなお、磨かおぼと。全児演は集まり、平和についてあれやこれやと話し、仲間意識を密にしています。

AFF2  
ARTS for the Future by 2

ポーポキ・ピース・プロジェクト <http://popoki.cruisejapan.com> ・ [ronniandpopoki\(at\)gmail.com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail.com)



## \*Popoki's Interview\*

やらにゃん

\*最近、いろいろな場所でパンデミックを体験しているポーポキの友だちに状況を聞くことにしています。今回、やらにゃんはお祖母さんをインタビューしました！

こんにちは！ 私の名前はヤラです。祖母のパルミラ デ ヘスス クンベをインタビューしました。彼女の初期の人生、キャリア、COVID のパンデミックが始まってからの人生についての彼女の考えと、循環的な歴史がどのようになり得るかを尋ねました。

Q// 自己紹介をお願いします。

私は 1931 年 1 月、モザンビークのイニャンバネ州のパンダ地区で生まれました。モザンビークはまだポルトガルの植民地でした。私は 5 人兄弟の 2 番目でした。私の父ナイフェ・クンベは鉱山労働者でしたが、転職して村長になりました。母親のサイリファ・クンベは専業主婦でした。

Q// 学校はどうでしたか？

私は家の近くの小学校に通い、2 年生から 4 年生まで、ホモイネにある「Missao de São João de Deus」という宣教学校に通いました。1950 年に看護を学ぶためにマプトに引っ越しました。1950 年から 1954 年、マプト中央病院当時はミゲル・ボンバルダ病院として知られており、全国レベルで唯一の中央病院でした。

Q//看護で何を学びましたか？

産科（妊婦の状態を観察し、何を質問し、何を測定し、治療し、予防するかを知る）、実践的および理論的な医学（症状を特定し、それらを治療する方法を知る）。助産師になるための訓練を受けました。

Q//ずっと看護師になりたかったのですか？

思春期の頃、好奇心で健康分野に入りたいと思っていたのですが、すでにその分野で働いている人を見て、人の役に立ちたいという気持ちがさらに強くなりました。

Q// 仕事は好きでしたか？ また、どのように感じましたか？

私は自分の仕事がとても好きでした。とてもうれしかったです。

Q//発生したはしかの流行についてももう少し教えていただけますか？

当時はワクチンがなかったので、多くの子供たちが命を落としました。それは主に子供に影響を与え、まれであるけれど、一部の大人も感染しました。犠牲者の数は覚えていませんが、当時は恐ろしい数でした。当時私たちにできることは、彼らを隔離して単純なペニシリンを投与することだけでした。私はとても悲しく思いました... 多くの子供たちが亡くなっています。ひどかった。

Q// 自分を守り、病気を広めないようにする方法はありましたか？

衛生。私たちは手を洗い、シャワーを浴び、私服に着替えました。

Q// ワクチンがモザンビークに到着したのはいつですか？

- ワクチンは、モザンビークの独立後の 1975 年に初めて登場しました。ヨーロッパにすでに存在していたかどうかはわかりませんが、それが私たちに到着したときです。

Q// 病院で人種差別に苦しんだことはありますか？

- 時々、患者や医師は私たちに無礼でした。私たちが看護師であるにもかかわらず、彼らは私たちを補助看護師と呼んでいました。彼らは私たちの実際の肩書きで私たちに話しかけません。一部の同僚は、白人スタッフが「行儀が悪い」と見なしたために、条件の悪い地区に転勤することになりました。私にはそのようなことはありませんでした。私も彼らの発言を無視することを学び、あまり影響を受けませんでした。

Q// 戦争は看護師としての仕事にどのような影響を与えましたか？

南部では、戦争が何であるかを理解し始めたのは、独立後のことでした。北部は独立戦争で最も苦しんだ。1975 年以降、新政府が発足すると、病院は再編されました。病院の診療所は以前は人種が別々にされていましたが、それが変わりました。

Q// 自立は投薬の受容に影響を与えましたか？

いいえ、そのような困難はありませんでした。ポルトガル人がすべてを支配していたので、適応期間だったので、彼らが去った後に空いたポジションを埋める必要がありました。一定の不安定さがありました。難しいです。植民地時代には、恵まれない人々を助けることができました。私たちは路上で乞食しているとは決してみませんでした。修道女が運営するホームレスの人々のための集中センターがありました。彼らは生き残るために必要なものを見つけることができましたが、戦後が終わったら基本的な商品の価格は上昇しました。

Q// このような不安定な状況にもかかわらず、平和な瞬間はありましたか？

私はそうでしたが、戦争、戦争についてのニュースで、私たちは申し訳ありませんでした。私たちは嵐の目の前にいなかったため、苦しみの程度に気づきませんでした。

Q// 引退後の生活はいかがでしたか？

トレーニングの後、私はチブトの産科に 10 年間配属され、そこでほとんど一人で働きました。その後、ミゲル ボンバルダに戻り、1964 年から 1983 年まで勤務しました。私が住んでいた場所に近い中央病院。私は 1984 年に引退しましたが、予防接種キャンペーンがあればいつでもボランティアをしていました。最後にボランティアをしたのはおそらく 1997 年でしたが、教会に行ったり、家の世話をしたり、娘や孫の世話をしたりと、ほとんど楽しんでいました。

Q// あなたが看護師だった頃よりも、今の病院の状態は良くなっていると思いますか？

私が看護師をしていたときは、本当に良い労働条件がありました。はい、人種差別と人種分離がありました。比較するのは難しいと思います。今はまだ良い労働条件がいくつかありますが、働き方が違うだけだと思います。また、私たちの政府はパンデミックにうまく対処したと思います。テレビには常に衛生と予防に関する番組やニュースが流れていました。ほとんどの人は規則を守り、教会も閉鎖されました。

Q// パンデミックはあなたの生活にどのような影響を与えましたか？

ここ数年、身体的に制限されているためにほとんど家にいるので、説明するのに苦労していますが、教会の女性はまだ来ますが、頻度は減っています。パンデミックで一緒に祈りに来てくれる子供たちも家に来てもらえませんが、私の日常はあまり変わっていません。中国人の方が悪いと思います。

私はニュースを見て、彼らが何を体験しているかをみると、私の状況がそう悪くないと思ったりします。

Q//不安でしたか？

子供や孫がどうなるのかが心配でした。私は自分の人生を生きてきました。自分のためにやりたいこと、自分の子供たちとその子供たちのためにできることはすべてやってきました。私たちは皆予防接種を受けているので、今日は少し心配が減りました。

Q// 今、戦争や飢饉、パンデミックで苦しんでいる人たちに、励ましの言葉をお願いできますか？

人々を励ますために、私はいつも「これも過ぎてしまうだろう」と思っています。今起こっていることはすべて、過去に起こったことであり、彼らが生き残ったように私たちは生き残ります。私たちの違いに関係なく、常に親切で、お互いの世話をしてください。私たちは優しく、お互いを尊重し、勇敢である必要があります。



ポーポキ・ピース・プロジェクト <http://popoki.cruisejapan.com> ・ [ronniandpopoki\(at\)gmail.com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail.com)

# ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 173 今月のテーマは、ツイスト！



1. まず、いつものように、美しく座りましょう。
  2. では、立って、手を腰に置きましょう。下半身を動かさなくて、上半身だけでツイスト！右・左・右・左！ゆっくり繰り返しましょう。
  3. 次は、足を広げましょう。下半身を固定したまま、右手を左足の外においてみましょう。今度は、左手を右足の外に置きます。できる方は上半身を大きく動かして、大きくツイストしてみてください！
  4. さて、今度は下半身のみを動かします。右足を左足のうしろにおいてから、今度は左足を右足のうしろに置きましょう。できる方は、ペースを早くしてみてください。
  5. できてもできなくてもがんばりましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！
- お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

## 一緒にいかが？



次回のポー会：2022年10月 日 Zoom 会議 19:00～\*

\*\*\*リンクが毎回同じ。必要な方はメールでポーポキに聞いてくださいね

10.15 大阪YWCA LGBTQ+・セクシュアリティについてのワークショップ@大阪YMCA

10.22 平和と健康ワークショップ@兵庫医科大学(次ページを参照)。

12. ポー年会

2023.2 大船渡市立北小学校のみなさんとWS

ポーポキの友だちからのおすすめの本等

- ・『りょうくんのすすむみち 学校に行けない君たちへ』作・絵 かねしろ みゆき、学研 2019年。
- ・大槌町『生きる証 岩手県大槌町 東日本大震災記録誌』監修:大槌町教育委員会ほか。2019.7
- ・アレキサンダー ロニー&桂木聡子(2020)「被災体験後「今」を表現する：絵から読み取れる被災ナラティブ」『国際協力論集』27(2)、17 - 32 (2020年1月発行) [http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta\\_pub/detail](http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta_pub/detail)

ポーポキ・ピース・プロジェクト <http://popoki.cruisejapan.com> ・ [ronniandpopoki\(at\)gmail.com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail.com)



# ポーポキ・ピース・ネットワーク

## 第12回ワークショップ 「健康って、なに色？」

Workshop: "What color is Health?" @ Hyogo Medical University

あなたも 平和のねこと一緒に  
健康と平和について  
感じたり、考えたりしませんか？



平和って何だろう？健康って何だろう？

普段何気なく聞いたり見たり感じたりしていること。

ねこのポーポキと一緒に平和や健康の観点から暮らしを見直してみませんか？

今回はオンラインだけど、みんなで一緒に考えてみよう！！

日時 2022年10月22日(土曜日) オンライン参加型ワークショップ！  
Online Active Workshop! 14:00~16:00

\*\*申し込むと、参加用URLを送ります。When you register we will send a link.

対象 どなたでも参加できます。Open to all 定員 30名 30 participants

申込方法 電子メール(裏面)にてお申し込み下さい。

Registration: Fax or e-mail (see the reverse side)

問合せ先 兵庫医科大学 地域連携実践ステーション HMU Community Outreach Station

電話 078-304-3013 (受付時間: 平日9時~17時)

担当者 兵庫医科大学薬学部 桂木聡子 For information contact Satonyan

## Zoom開催となります



### スケジュールProgram

13:50 受付Registration

14:00 「ポガ」タイム Poga ポガ: ポーポキのヨガ 14:

05 ワークショップ 「ポーポキ、健康って、なに色？」

Workshop 1: Popoki, what color is health?

15:10 ワークショップ 「コロナの時代の健康づくりって どんな形？」

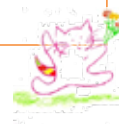
Workshop 2: What is the shape of health promotion in the COVID-19 era?

15:50 まとめ、発表Conclusion, presentations

16:00 解散 Dismissal

\* オンラインだけれど、小グループで話したり、絵を描いたりします！ It's online, but we will engage in small group discussion, drawing, etc.! Will fit each person's needs!

\* お一人お一人にあった動きをしますので、どなたでも参加できます。





# ポーポキ・ピース・ネットワーク

あなたも 平和のねこと一緒に  
健康と平和について  
感じたり、考えたりしませんか？

メール送信先: [chi-ki@ml.hyo-med.ac.jp](mailto:chi-ki@ml.hyo-med.ac.jp)  
兵庫医科大学 地域連携実践ステーション

申込方法 メールにてお申し込み下さい。(上記のアドレスへ)  
内容 氏名・メールアドレス・連絡先お電話番号をお知らせください。  
Registration: Send e-Mail (above) with your name, mail address, contact address and phone number  
問合せ先 兵庫医科大学 神戸キャンパス 地域連携実践ステーション  
電話 078-304-3013 (受付時間: 平日9時~17時)  
担当者 兵庫医科大学 薬学部 桂木 聡子  
For information contact Satonyan



メール作成画面はこちら  
Click here to see the  
mail composition screen.



アマゾンで買えるよ!

全編日英対照

神戸大学出版会

# ポーポキの マスクギャラリー

～コロナ禍でアートを通して  
日常の安心を探る～

編著・絵 ロニー・アレキサンダー

Written, edited and illustrated by Ronni Alexander



令和4年3月  
発売!!

A5判・192ページ  
定価 2,420円 (税込)

## 【本書の内容】

### 前書き

#### 第一部：ことばの旅

「ことばの旅」への誘い

#### 第二部：「お絵描き」の旅

- ① 物語を描くということ
- ② くちゃくちゃ
- ③ 色たち
- ④ いかなきゅ(桂木聡子)
- ⑤ 2021.1.17 に想う
- ⑥ 乱れ
- ⑦ プール

#### 第三部：「ふりかえり」の旅

「ふりかえり」の旅

- ① ポーポキのマスクギャラリー — 基盤となる日本人の伝統的思考法を考える—(高田西)  
Popoki's Mask Gallery — A consideration based on traditional Japanese ways of thinking (Takada Satoshi)
- ② 対談：アナ・アガサングロウとロニー・アレキサンダー(世界国際関係学会年次研究大会2021年)  
Conversation: Anna Agathangelou and Ronni Alexander (International Studies Association Annual Conference 2021)
- ③ ポーポキの旅: ポーポキのマスクギャラリーができるまでの道のり(ロニー・アレキサンダー)  
Popoki's Journey: How Popoki's mask gallery came to be (Ronni Alexander)

### 後書き：新たな旅

今度はあなた

### Prologue

#### Part I: A Word Journey

An Invitation to take a Word Journey

#### Part II: A Drawing Journey

The Meaning of Drawing Stories

All Messed Up

Colors

I've Gotta Go (Katsuragi Satoko)

Thoughts on 17 January 2021

Confusion

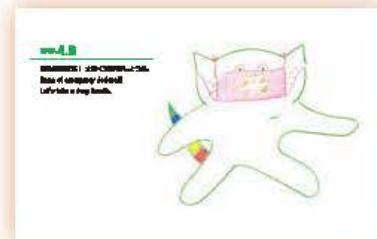
Pool

#### Part III: A Journey of Reflection

A Journey of Reflection

### Epilogue: A New Journey

Now it is Your Turn



本文より抜粋



発行：神戸大学出版会 <https://www.org.kobe-u.ac.jp/kupress/>  
神戸市灘区六甲台町2-1 神戸大学社会科学系図書館内 Tel. 078-803-7315 Fax. 078-361-7320

発売：神戸新聞総合出版センター  
神戸市中央区東川崎町1丁目5-7 神戸情報文化ビル9F Tel. 078-362-7138 Fax. 078-361-7552

- ロニー、アレキサンダー、桂木、聡子、勅使河原、君江 「被災者の多様で個別的な安心についてお絵描きを通して思索する活動」 『神戸大学大学院人間発達環境学研究科研究紀要』15(2) 53-65 2022-03-30 JaLCDOI 10.24546/81013202
- アレキサンダー & 桂木 「被災体験後「今」を表現する：絵から読み取れる被災ナラティブ」国際協力論集 27(2) 2020.2 pp.17-32. JaLCDOI 10.24546/81011967
- 「ポーポキのミニ平和映画祭」「こくしのみど52」『神戸青年・Kobe YMCA News』No.652 2017.7-8
- ESD Digital Archives, Kansai Council of Organizations for International Exchange <http://www.interpeople.or.jp>
- 関西国際交流団体協議会の「デジタルアーカイブ(WE B版の事例集)にポーポキ! <http://www.interpeople.or.jp>
- 「平和を考える絵本出版 被災者支援きっかけに」『神戸新聞』(貝原加奈 2014.4.25 28面)
- 「ボランティア37団体に助成 大和証券福祉財団」『神戸新聞』(2013.8.23 朝刊 地域経済 8面)
- 「原爆の熱線で焼き付いたー "人影"再現、非核誓う」『神戸新聞』(2013.8.7 朝刊 22面)
- 「被災 秘めた思い描いて」「ひと人抄」『読売新聞』(2013.2.16 夕刊 4面)
- 広岩近広 「安全」「安心」の社会は足元から、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』2012.10.29 (「今、平和を語る」、夕刊、1面)
- R. Alexander. "Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War." *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に9条がある」NO:66 2012年5月12日[子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』2012.1.21 (兵庫・29面)
- 「平和祈る声まとめ本に」斎藤雅志 『神戸新聞』2012.1.19 (伝える1・17 3・11、22面)
- K. Wada. "Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?" *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. "The Art of Healing" (Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) "The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 「『ポーポキ、平和って、なに色?』の背後にあるもの」(連載)とさぼりライフ第19号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ:こくさいのまで (パレスチナについて)『神戸青年』No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる!」THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界: 被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] [http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602\\_ja](http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja)
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 'Heart Lines' 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- "Human Rights, Popoki and Bare Life." *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色?ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPEAWA』(日本汎太平洋東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第2号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに…」 No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャレンジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 「『ポーポキ、友情って、なに色?』」「私のいち押し」奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通 信)
- 「友情って…考える絵本」朝日新聞 「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて 人間と、ねこと、そして自分と〜」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No.259, p.11
- 「カティング・エッジ」第35号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なに色?ポーポキのピース・ブック2』(レベッカ・ジェニス) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第2弾を出版」(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなに色?」KOBE YMCA NEWS 『神戸青年』2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなに色?」KOBE YMCA NEWS 『神戸青年』2009.1.1 No.592 p.2
- 「友だちになってくれませんか?」RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ!!!プロジェクトメンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組。(リンクは現在無効)
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会 「世界人権宣言」ひょうご部落解放・人権研究所 2008.10 500円。詳しくは: [blrhyg@osk3.3web.ne.jp](mailto:blrhyg@osk3.3web.ne.jp) FAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会「エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)



## 私にとってポーポキ

かすみにゃん

Circle of Life いのちの物語

伊呂波が、麗子さんとマメダイフクを両腕で抱き抱えて舐めてやっています。

保護猫の伊呂波が2ヶ月でうちにやってきた時、彼は先輩猫の16歳のソックスの乳首に吸い付き、おっぱいをふみふみしていました。ソックスは慈愛に満ちた眼で伊呂波を見つめ、抱きしめ続けました。伊呂波はソックスに舐められてケラケラ笑っていましたが、その後去勢手術を受けてもこの習慣は変わりませんでした。

一年後ソックスが亡くなった。伊呂波の悲しみは私達人間の嘆きをはるかに越え、性格も一変してしまいました。家の奥の方の、暗くて誰も来ない場所から出てこなくなったのです。伊呂波は笑うことも歌うこともやめてしまいました。

心配した人間は、麗子さんとマメダイフクをお家に迎えることにしました。伊呂波は戸棚の奥から出てきて、幼い2匹の間に座って抱きしめ、毛繕いを始めました。

ある日帰宅した人間は、3匹の生まれたての子猫を発見します。麗子が自力で出産したようです。ヤンママの麗子は子どもを育てることができず、そのうち2匹が冷たくなってしまいました。マメダイフクは、伊呂波や人間に構ってもらえなくなかったことを拗ねて、アカノタニンになってしまいました。

ここで伊呂波アニキが手を挙げます。子ねこ箱に丸くなり、生き残ったりゆりゆの子育てを始めました。麗子はなにしろ不安定。りゆりゆが鳴くと、麗子も不安で大声で鳴きます。この2匹を見守り抱きしめてくれたのは、2歳になったばかりの伊呂波だったのです。伊呂波はりゆりゆが走り疲れて眠るまで、目を離さず必ずそばにいてくれました。

りゆりゆは無事生後2ヶ月のお嬢様に成長しました。旅立つことが決まったのです。そこは伊呂波の妹ねこを半年前に亡くしたご家族。お姫様のように大事に育ててきた分、深い悲しみをご家族を覆っていました。りゆりゆは天使として、望まれて迎えられたのでした。

りゆりゆは火の玉のように活発で無邪気。泣き暮らしたご家族に泣いてる暇はもうありません。走り回るりゆりゆ。絶対捕まりません！

Circle of Life. いのちは巡る。愛されて育てられた伊呂波は、今日も麗子やマメダイフクを抱きしめています。そうやって、3匹とも今日も眠りにつくのです。





ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）、『ポーポキ、元気って、なに色？ポーポキのピース・ブック3』を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011年に起こった東日本大震災をきっかけに活動しており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を2012年1月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動を続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なりたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、[popokipeace@gmail.com](mailto:popokipeace@gmail.com)へお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)

<http://popoki.cruisejapan.com>



郵便振替口座番号 00920 - 4 - 280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。

